

南米ポリビア・
北ポトシ地方の音楽の
スペシャリスト。
待望の初来日!

グループ

ノルテ・ポトシ

En vivo en Japón 2012 初来日公演

Grupo NORTE POTOSÍ

Trás la huella musical de los Pueblos Quechuas de Bolivia.



❖東京公演❖

9/14 金

18:30開場 / 19:00開演

9/15 土

13:30開場 / 14:00開演

アールズ

R'sアートコート (労音大久保会館)

東京都新宿区大久保1-9-10 労音大久保会館内

チケット 4,000円(前売) 4,500円(当日) ※全席自由

●お申し込み・お問い合わせ: 東京労音 03-3204-9933

主催: 東京労音 後援: ポリビア多民族国大使館

※ご予約・ご購入いただいたチケットはキャンセル出来ません。会場内での撮影・録音・録画は固くお断りいたします。幼児・園児の入場はご遠慮下さい。



ボリビア、 ケチュアの人々の 音楽の軌跡を辿って

民俗芸能の宝庫、 ボリビア・北ポトシ地方

多彩な民俗音楽で知られるボリビアのほぼ中央部、国土の中で最も標高が高い地域にノルテ・デ・ポトシと呼ばれる地方があります。かつて大量の銀を産出したポトシの町の北側…北ポトシという意味です。北ポトシ地方は、その気候的な厳しさ、山々が連なる地理的条件とで、大きな町が出来にくく、よって昔ながらの伝統が豊富に残された地域でもあります。北ポトシの村々で織られる見事な織物と同様に、伝統芸能や音楽においても、他の地方では見られない独特なものが、現在でも実践されています。北ポトシ地方の祭りに奏でられる音楽は多種多彩。ボリビアを代表する弦楽器チャランゴをはじめとする楽器のバリエーションは、その種類、調弦法、リズムなど、どれも他の地域の追従を許しません。

また北ポトシ地方は、鉱山の地域としても知られています。金、銀、銅、錫、鉛、タングステン…五百年もの昔から、ありとあらゆる鉱物資源を供給してきた鉱山は、同時に鉱夫たちの過酷な労働場所でもあり、そのために、鉱夫たちの生活の権利を求めた集団発起が、歴史上幾度となく繰り返されてきた土地柄でもあります。北ポトシの町々には、今も大勢の鉱夫たちが暮らし、毎日暗闇の坑道の中で働いています。彼らは生きるために鉱山で働き、その命に力を与えるために、音楽を奏でます。北ポトシ地方に伝わる音楽は、今も人々の生活を支えているのです。



グループ 『ノルテ・ポトシ』

グループ「ノルテ・ポトシ」は、1985年、北ポトシ地方の中心的小町、ジャグアで結成されました。幼い頃より、北ポトシの伝統芸能によって育てられてきた彼らの奏でる伝承音楽はまさに本物です。アンデス地方独特の、超高音ソプラノの名手コルネリアの歌を中心に、特殊調弦を駆使したチャランゴ、コンコータなどの弦楽器、ステップダンスや手拍子なども交えながら、北ポトシ地方の伝統を再現します。

グループ「ノルテ・ポトシ」のもう一つの特徴は、全員がアンデス固有の言語であり、インカ文明の公用語でもあったケチュア語を話すということです。彼らはケチュアの音楽にこだわります。それはケチュア語が、彼らの生まれ育った地域の人々の、真の表現方法であることを知っているからです。

ボリビアの都市部では、伝統音楽にもグローバル化の波が押し寄せて、ポップなフォルクローレが主流となりつつあります。そんな中で、グループ「ノルテ・ポトシ」は、かたくなに北ポトシの伝承音楽、ケチュアの音楽を奏で続けてきました。北ポトシの音楽で、数々の音楽祭に優勝し、プラチナディスク賞や、ゴールデンディスク賞を多数獲得してきたグループ「ノルテ・ポトシ」の存在は、ボリビア音楽界の中でも唯一無二、確固たる地位を確立しています。

グループノルテ・ポトシ Grupo Norte Potosi



Ruben Porco Herrera
ルベン・ボルコ・エレーラ
(チャランゴ、うた/リーダー)

ボリビア北ポトシ地方の中心的小町ジャグアのシグロ・ペインテ地区出身。1985年のノルテ・ポトシ結成からのメンバーであり、現在はグループのリーダーを務める。さまざまな調弦のチャランゴや、コンコータなどの弦楽器から、フラフラ、ケーナ、シークなどの管楽器、その他パーカッションまで、北ポトシ地方で使われる楽器の数々をこなす。これまでに、ボリビア各地のみならず、ラテンアメリカやヨーロッパ諸国での演奏も数多く、日本にも「バクシカナ」のメンバーとして訪れている。ボリビア国内の数多くのアーティストたちと共演し、録音物も多い。



Cornelia Veramendi Mamani
コルネリア・ベラメンディ・ママニ
(うた、パーカッション)

ジャグアのシグロ・ペインテ地区出身。ボリビアで最も高音域を操る歌手であり、ノルテ・ポトシ結成時から、グループのトップボイスを担っている。その歌声は、ボリビア国内の多くのアーティストから賞賛を受け、数多くのコンサートや録音にゲスト参加している。2005年メキシコより招聘を受け、北ポトシ地方の伝統、風習と音楽の講義を行った折には、「最もボリビアを代表する歌声」と絶賛された。



Inti Jairo Porco Veramendi
インティ・ハイロ・ボルコ・ベラメンディ
(ギター、管楽器、うた)

ボリビアの首都ラパス出身。父ルベンと、母コルネリアのもと、ノルテ・ポトシの音楽で育てられた。これまでに、数々のフォルクローレ・グループに参加し、演奏経験を重ねて来た。ギターとコンコータ、その他管楽器の演奏を得意としている。



Juan Luis Ugarte Cabo
フアン・ルイス・ウガルテ・カボ
(ギター、チャランゴ、管楽器)

ポトシ県トゥカリ出身。ラパスでは、ボリビア・フォルクローレの名門グループ「グループ・コカ」のメンバーでもあった。チャランゴ、ギターなどの弦楽器、ケーナ、シークなどの管楽器ほか、パーカッションもこなす。作詞作曲にも定評があり、ノルテ・ポトシのレパートリーにも、数々の楽曲を提供している。

◆ノルテ・ポトシ来日公演◆

9/16(日) 12:30/13:00 福島県 福島市音楽堂大ホール 024-531-6221(福島市音楽堂)

9/22(土) 13:00/13:30 北海道 富良野演劇工場 0167-45-6658(アンデス音楽同好会)

▶ YouTube 「Norte Potosi」で検索 ◀

ノルテ・ポトシの映像をご覧いただけます。